

内分泌・代謝・乳腺

Endocrine organ/Metabolism/Mammary gland

ユニット責任者：内科学（代謝・内分泌内科） 教授 田中 逸

ブロック名		期間	ブロック責任者
第3ブロック	内分泌・代謝・乳腺③	6月19日 ～ 6月22日	加藤 浩之

1. ユニット概要・学習内容

第2学年の後半で代謝・栄養に関わるその基礎となる糖・脂質・タンパク質の代謝における生化学的な知識を学習したが、第3学年では代謝疾患のその治療法について解説する。代謝領域については、糖尿病、脂質異常症、尿酸異常症、肥満症について学習する。いずれの領域も臨床実習でさらに各疾患に関する詳しい鑑別法や治療法を学ぶことになるが、第3学年の段階ではこれらの基礎的な理解と知識の習得を行う。

2. 到達目標

- 1) 糖・脂質・タンパク質の代謝の基礎を理解し、説明できる
- 2) 糖尿病の概念、発症、病態について理解し、説明できる。
- 3) 糖尿病の合併症、治療法について理解し、説明できる。
- 4) 脂質異常症、肥満症、尿酸代謝異常について病態、治療法を説明できる。

3. 学習上の注意点

内分泌・代謝・乳腺の領域を学習するには各領域における解剖学、生理学、生化学の知識を統合的に理解する必要がある。単に知識を詰め込むだけでは統合的な深い理解はできない。授業で教わった内容を改めて自分の頭の中で再構成し、自分は本当にきちんと理解できているか自問自答する必要がある。その意味でこの領域は予習より復習を徹底的に行うことが重要である。その上で、授業で理解できなかった点や不明な点はなるべく当日中に質問すること、また復習しても納得できない点や、どう解釈すればよいか分からない点などは後日教員に質問して解決する習慣を付けてもらいたい。完全に理解できていないままに知識だけを単に詰め込んで記憶しても意味はないと考えてもらいたい。

4. 教科書・参考書

教科書：とくに指定しない。適宜、資料を配布する。

参考書：

1) 『Problem-based Physiology by RG Carroll』 (Saunders)

(書評) 症例から生理学的な要素のみを解説している。全部で 88 症例あり、例えば、Case 1 として、1つの症例の診断、根拠、生理学的な考え方をコンパクトに解説している。少し無理があるが、ガイドンやコスタンゾの図が使われている。Endocrinology の部分はおもしろい。但し英語。Kindle 版があり、分からない英単語はすぐにググれる。お勧め。

2) 『標準組織学各論』 (医学書院)

(書評) 組織学の定番教科書。臓器の組織学的形態が、その臓器の機能を表している事を理解しやすい。やや高度で専門的な記述も見受けられるが、統合的な学習の一助となる一冊である。

3) 『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第4版』 (医療情報科学研究所)

(書評) 内分泌・代謝領域の各疾患における解剖的、生化学、生理学、病理学的なポイントを統合的に分かりやすく理解できる。各疾患の鑑別法と治療法も詳しく記載されており、国家試験や卒後臨床研修の時期まで長く利用できる。

4) 『内科学 第11版』 (朝倉書店)

(書評) 内科学全体のバイブル的な書物。国家試験出題基準を網羅する。全てを読破する必要はないが、上記参考書では理解しにくい点などをより深く理解するのに役立つ。また辞書的に使っても有用である。

5) 『リップンコットシリーズ イラストレイテッド生化学 原書6版』 (丸善)

(書評) コンパクトながら臨床への関連も学べる。重要な事項はよく整理された図にまとまっているので、図の内容を理解し、生理的意義を説明できるようにすること。章末には章をまとめる概念図があるので、全体像を把握し、要点の整理をしておくこと。

1 学年「医系自然科学」「内分泌のしくみ」「物質代謝のしくみ」ユニットで教科書として指定されている。

5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	2	95 (%)	
授業態度		5 (%)	出席状況や学習態度を評価する

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
代謝・内分泌内科	教授	田中 逸	月曜日 14～17 時 木曜日 14～17 時	医学部本館 1 階 代謝・内分泌内科医局	
代謝・内分泌内科	准教授	永井 義夫	水曜日 14～17 時 金曜日 14～17 時	同上	
代謝・内分泌内科	講師	加藤 浩之	水曜日 14～17 時 金曜日 14～17 時	同上	
生理学	教授	船橋 利也	月曜日 12 時半～13 時	医学部本館 4 階 生理学教室	toshiya
生化学（生化学）	助教	表山 和樹	平日 18 時まで	医学部本館 5 階 生化学教室	内線 3521

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略